

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名： 出雲市里家センター
施設種類： 地域密着型通所介護
日時： 令和7年7月25日
会場： 出雲市里家センター 相談室
出席者：

利用者家族	欠席	出雲市職員	1人
第三者委員	1人	事業所職員	2人

(議題)

1. 活動報告
2. 意見交換

1. 活動報告（事業利用状況、及び前年度との比較による運営状況）

- 1) 月別利用延べ人数（R6年度実績とR7年6月までの実績と傾向）
- 2) 曜日別登録者数（R7年2月とR7年5月の比較）
- 3) 利用者の介護度（R7年2月とR7年5月の比較）
- 4) 紹介居宅事業所数（R7年2月とR7年5月の比較）
- 5) 利用者の平均年齢（R7年2月とR7年5月の比較）
- 6) 自主事業（R7年1月からR7年6月までの実績）
- 7) 職員資格（R7年2月とR7年5月の比較）
- 8) 一日の流れ
- 9) 実施行事
- 10) 防災訓練
- 11) ボランティア受け入れ状況
- 12) 苦情・ヒヤリハット・事故報告
- 13) 職員会議、職員研修計画
- 14) 環境整備の取り組み計画

2. 意見交換（評価、要望、意見、助言等）

(第三者委員)

行事が毎月多くて大変だなと思った。事故もなく、職員間の連携が良く問題ないのではないかなと思う。利用者の年齢が高くなっているが歩行や車から降りたり乗ったりが大変で時間がかかると思うので、ゆっくり時間をかけてればいいかなと思う。要介護3までの方が多いことが分かった。

(職員)

最近では実際の介護量より介護度が低く出ることが多く、介護度が見合っていないことが多い気がする。介護度1、2の方が一番多いと感じている。

(第三者委員)

コロナ等の感染はないか。

(職員)

今のところない。

(第三者委員)

手洗い等をしっかりされておられるんですね。

(職員)

来所時や飲食の前には必ず石鹸で手洗いをして頂いている。

(第三者委員)

しっかり習慣がついておられるんですね。

今も野菜作りをしておられるか？

(職員)

今はしていない。今年は季節の花植えしかできていない。

(出雲市職員)

いろんな行事をされていてすごいなと思った。食事でも皆さんが普段あまり食べられないカップラーメン等と工夫しておられ、ドーナツも外に買いに行かないといけない、種類もいっぱいあるので、利用者の方もめずらしくて喜ばれたのではないかと思います。

(職員)

カップラーメンの食事の時は、おひたしやおにぎりを利用者の方に作って頂いた。今まではコロナ等で調理がなかなかできなかったが、出来るようになってよかった。ドーナツの日もいろんな種類を用意し、ゲームで一番になった方から選んで頂き楽しめた。飲み物も炭酸ジュース等普段あまり飲まれない物を用意させて頂き、中には炭酸ジュースが好きな方もおられ喜ばれた。

(出雲市職員)

紹介居宅がいつも同じところになっていると言われたがなぜか。

(職員)

中山間地域にお住まいの方には、近くの居宅を紹介されることが多く、街中の居宅が中山間地域の方を受け持つことが少ないのでどうしても近隣の居宅からの紹介が主になっている。新規の居宅はめったにない状況。

(出雲市職員)

運転手の方が1人いるが専属の方か。

(職員)

はい。朝と夕方に出勤している。

(出雲市職員)

一番遠い所はどこか。

(職員)

窪田の石場方面。道沿いではなく、さらに山に上がった所まで行っている。

(出雲市職員)

人数が変わらず延べ人数が増えているということは出られる曜日が増えているのか。

(職員)

はい。曜日を増やされた方が多かった。慣れてきたからもう一日増やそう、家にいたら不安なのでもう一日増やそう、という方が多いため。

(出雲市職員)

事故報告書で、ショート利用だと思いこんで迎えに行かなかったというのがあがっているが、その日はショートだったのか。

(職員)

その方は毎週木曜日だけ利用で、隔週でショートを利用するため休んでおられた。先週は来ておられたので、次の週はショートだと思い込んでいたら、実はショートではなく利用日だったという事故内容だった。

(出雲市職員)

他施設のショートを使われる予定だったということ、パターンが決まっていたのに急に変わると見落としやすい。

(職員)

こちらの確認不足だった。毎月ケアマネから提供表をいただき、確認してサービスを実施するというのが本当だが、そこに思いこみが入っていたので気を付けるべきだったという事案。

(出雲市職員)

ドライバーは、自宅に行かれて家まで入って声掛けが多いか。

(職員)

基本的には玄関まで。

(出雲市職員)

皆さん玄関の前で待っておられるか。

(職員)

呼んでから出てこられる方が多い。今は暑いので玄関で待たれると心配がある。基本は玄関から玄関までとなっている。居室に上がって介助が必要になれば運転手ではなく介護職が行くようにしている。今はそのような方はいない。運転手は、介護に携わってない人なので、そこはきちんと区別している。

(出雲市職員)

出雲市でもドライバー不足の問題を良い秘策はないか話し合っている。実際ドライバーが家の中に入っていくとなると問題がある。本当はヘルパーが入らないといけない。日常はどうか聞かせてもらった。

(職員)

ドライバーもだが、介護職も足りない状況。募集をかけても全く応募がない。人材不足は介護業界だけではないかもしれないが、その課題がなかなかクリアできない。職員が増やせないと利用者も増やせないので経営が厳しくなる。

(出雲市職員)

社会福祉法人の中には市の補助制度を使いながら積極的に外国人の方を雇用されているところもある。いろいろと問題点も言われているが、全国に比べたら出雲は理解のあるほうだと思う。人材不足はなかなか難しい課題だと感じる。